

平成27年11月27日
群馬大学医学部附属病院

患者さんの個人情報を含むデータの紛失について

本院の医師が、患者さんの個人情報が記録されたUSBメモリデータを院内で紛失したことが判明しましたので、下記のとおりご報告いたします。

該当される患者さんをはじめ、その他関係各位の皆様にも多大なるご心配とご迷惑をおかけすることになりましたことを心より深くお詫び申し上げます。

なお、該当される患者さんには、文書による本件の内容の説明と謝罪を行いました。

記

1. 紛失したUSBメモリに記録されていた情報

平成27年4月以降、本院で輸血を行った患者584人に係る個人情報（ID、氏名、住所、電話番号、血液型、受診科、血液製剤製造番号）。

2. USBメモリ紛失の経過概要

- 本院輸血部では、厚生労働省の「輸血療法の実施に関する指針」に基づき、今年の7月から毎月、輸血後3ヶ月を経過した患者さん宛に検査依頼文（お知らせ葉書）を送付している。
- 送付にあたっては、担当医師が対象となる患者さんのID、氏名、住所、電話番号、血液型、受診科、血液製剤製造番号をデータ化し、パソコンによる差込印刷で送付作業を行っていた。差込項目は、〒番号、住所、氏名であった。当該データは、USBメモリに保存していたが、ファイルの暗号化やパスワードの設定が行われていない状況であった。紛失したUSBメモリには、今年4月以降輸血を行った584人分の患者さんのデータが入っていた。
- 紛失前の最後のデータ入力作業は、11月13日（金）の17時～18時であった。
- 11月16日（月）に担当医師自身の机上の書類整理を行った。
- 11月17日（火）に担当医師がこれらの情報の入ったUSBメモリが見当たらないことに気づき、周囲の搜索、関係者への聞き取り等を行ったが見つからなかった。
- 11月18日（水）も引き続き搜索を行い、院内で落とし物の届け出がないか確認したが、該当するものはなかった。
- 11月19日（木）にも落とし物の届け出がないか確認したが、該当するものはなかった。同日午後、担当医師から病院長に紛失の報告があった。

3. 情報漏洩の可能性

今回の紛失については、担当医師は、USBメモリを院外へ持ち出しておらず、作業室は、関係者以外が出入りするような部屋ではないことから、部外者が院外へ持ち出した可能性は低く、11月16日に机上の書類整理を行った際にゴミ箱に廃棄してしまった可能性が考えられます。

本日現在、本件によって患者さんの個人情報が第三者に流出したという情報や不正に利用されたという事実は確認されておりませんが、今後、個人情報の流出の事実が確認された場合には、改めて公表させていただきます。

4. 該当する患者さんへの対応

該当する全ての患者さんに、文書による説明と謝罪を郵送いたしました。

また、本件に係る患者さんからのお問い合わせ先は、次のとおりです。

群馬大学医学部附属病院医事課

TEL 027-220-7827 (土・日・祝を除く平日8:30~17:00)

5. 今後の対策

本院としては、個人情報の取扱いについて日頃から注意喚起を行っており、定期的に研修会を開催するなどしておりますが、結果として、このような事態を招いてしまったことは大変申し訳なくお詫び申し上げます。

今後の再発防止策として、以下の事項を実施し、このような事態が発生することのないよう改めて全職員に個人情報の適切な管理と法令遵守の徹底に努めてまいります。

①自動暗号化USBの配布と登録によるデータの暗号化の徹底

②匿名化ソフトの導入による暗号化の徹底

③定期的な院内の個人情報管理状況の調査・確認

④各部署の情報管理責任者に対する再教育

⑤教職員を対象とした情報管理に関する定期的な研修会の開催及び参加の義務化